

科目名称	保健医療福祉のしくみ	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期		15
担当教員	香川 暁美	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

超高齢・少子社会に入り、保健医療においては病院完結型から地域完結型への転換が進められて久しい。しかし、今後訪れる多死社会において見取りまでを含めたケアがどの程度地域で提供可能なのか、また、少子化による血縁者の減少の中で、一人一人が自分自身でいかに人生を全うすることができるのかという課題にも行き当たる。このような社会変化を見通した保健医療福祉関連制度や法律の改定・制定も相次いで実施され、保健医療福祉が連携した地域包括ケアシステムの充実が求められている。

本科目では、医療従事者として社会背景の変化を捉え、保健医療福祉職の連携・協働に活用できることを目的として保健医療福祉の全体像を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 現在のわが国の保健、医療、社会保障・福祉のしくみの概要を理解する。
2. これからの地域包括ケアシステムにおける医療従事者としての関連職種との連携・協働の重要性について理解する。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
 - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
 - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
 - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
 - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	医療のしくみ	講義
2	公衆衛生のしくみ 1	講義
3	公衆衛生のしくみ 2	講義
4	公衆衛生のしくみ 3	講義
5	公衆衛生のしくみ 4	講義
6	社会福祉のしくみ 1	講義
7	社会福祉のしくみ 2	講義
8	筆記試験（45 分間）	

【5】 評価方法

1. 筆記試験

【6】 教科書

村上 潔 他著「看護学入門5 保健医療福祉のしくみ」第12版 メヂカルフレンド社 2022年

【7】 参考書

国民衛生の動向 2022/2023 一般財団法人厚生労働統計協会

【8】 受講生へのメッセージ